

2023/4/30(日)第1回 PERCHE O+学習支援「長さ世界2位の吊り橋」へ行こう👏も無事終了いたしました。

●こども参加者：33名

●ボランティアメンバー：13名

●支援者様・協力企業様・団体様

垂水区社会福祉協議会様・神戸市社会福祉協議会様・舞子公園様・舞子海上プロムナード様・橋の科学館様

多聞台民生児童委員様・多聞台ふれあいのまちづくり協議会様

令和5年度 PERCHE O+学習支援は、舞子駅すぐにある「橋の科学館」と「舞子海上プロムナード」へ行ってきました。昨年度にスマスイ学習支援を行なった後、参加できなかった子どもたちから「行きたかった〜!」「今度いつあるー?」と、質問攻めにありました・・

参加した子どもたちからも「今度どこ行くんー?」「いつあるんー?」と、これまた質問攻めにありました・・(2度あることは、3度ある・・)

参加した子どもたちの保護者様から「子どもがとても楽しかった!と、帰ってきたのでまたやってほしい!」「公共交通機関を利用するってすごくいい!同学年の遠足はあるけど、色んな学年と一緒にいけるのが良かった〜」などの声をたくさんいただきました。

「で、今後、どんなことするのー?」やっぱり質問攻めでした・・笑

なので地域外学習 第二弾として、すぐ近くだけど実は行ったことありません!という子も多いのでは?と今回の学習先を決定しました!

「橋の科学館」は、低学年に少し内容が難しいかな?と思いましたが「わぁ〜!!すごーい!」「動いてるー!」と興味津々。

漢字が読めなくても、何が書いてあるか意味がわからなくても、リアルな模型を見ては感嘆の声をあげ、3Dメガネを装着したら、真剣な眼差しでシアターに釘付け。

今感じる全てを吸収している姿勢に、低学年だからと勝手に心配した自分がいたことに「はっ!」とさせられました。線引きをしないこと。改めて自分を律する瞬間でした。難しいことがわからなくとも、「橋ってすごーい!!」それが分かればOKなんです。橋の科学館は「サイエンス(科学)」です。

科学とは🔍研究する認識活動です。 研究とは🔍深く考え、調べ、明らかにすることです。

そのきっかけは、「?」だと思うので今日のきっかけで「?」が生まれ、研究し、科学に興味を持つきっかけになればいいと思います。

子どもたちも、保護者の方々も、この3年間、コロナという未知のウイルスによりコミュニケーションが絶たれました。

その期間を埋めるかのように、当たり前のことのできる日常がただ嬉しくて伝えてくれている、そう思っています。

3年間で体に染み付いた習慣は、急には変えることができません。

「マスクはもうしなくてもよくなったよ」

「食べる時、黙食しなくても良くなったよ」

急にそんなこと言われても、大人以上に子どもたちは抵抗が大きく不安の方が勝ってしまいます。

強制しない。無理に求めない。子どもたちのペースに合わせて自然とマスクを外して「笑顔」が見れるその日まで、のんびり行こうと思っています。

室内ではなく室外では、マスクを自然と外す子が多くみられるようにもなりました。

お弁当を食べる時。教室じゃなかったら黙食ではなく「おかず何入ってるん?」「お菓子交換しよー」自然とマスクなしの会話がそこにはあります。

PERCHE O+では今後も、そんな機会を多く作っていきたく思います。

次回もみんなの笑顔に会えるのを楽しみにしています。

